



夢に向かって



学校教育目標 【郷土に誇りを持ち、未来を拓く心豊かな子どもの育成】

合志市立合志南小学校
学校だより 第13号
令和6年10月29日
文責 校長 土井昭子

6年生 修学旅行 10月25日、26日 長崎



(1日目) 平和学習「城山小学校、平和集会、フィールドワーク、原爆資料館、講話」

晴天の中、講師の方やガイドさんの話を聞き、メモをとったり、質問したりしっかりと学んでいました。平和集会では子どもたちの真剣な様子に、周りにいた観光客のみなさんから拍手が起こりました。心に響く歌声もあり、私も感動しました。1日目のスケジュールを終え、疲れた様子でホテルに着きました。たくさん歩いてお腹が減っていたので、夕食をおかわりしながら食べていました。部屋では話が弾み、盛り上がっている班もありました。10時消灯にはシーン。

(2日目) ハウステンボス 朝から雨…。雨具の用意をしてホテルから出発しました。最初にお土産を買ったのですが、「おいちゃん、おばあちゃんへのカステラ」「友だちとお揃いのキーホルダ」などそれぞれ楽しんでいました。さあ!ハウステンボス。到着したとたん雨がやみほっとしました。記念撮影の後、班での活動を開始しました。友だちと助け合っている様子が見られ、子どもたちの成長を感じました。6年生!これからも、学校のリーダーとして期待しています。



合志南小 HP



後期 遅くなりましたが、よろしくお願ひします! 児童数711名で後期スタート

誰かのためにもがんばる

やっと気候もよくなり、過ごしやすくなりました。後期が始まって1週間余り経ち、少しずつ「学校リズム」になってきているようです。掲載している写真は始業式の様子です。話をしっかり聞いて、反応してくれる子どもたちです。「今日自分で起きた人?」と尋ねたら、たくさん手があがりました。すごい!児童代表発表も校歌斉唱も、はきはきと元気にできました。始業式の間先生たちは、体育館の横に並んでいます。子どもたちの近くには数名の先生たちだけです。子どもたちは、自分たちで考え行動できます。任せるよい機会だと思っています。今回もメリハリのある態度でした。私からは



1つお話をしました。「誰かのためにもがんばる」についてです。学校では「誰かのためにもがんばる」場面がよくあります。その中で“掃除”は場所も広いし、先生がずっとついているわけではありません。よほど意識しないと、つつい手が止まったり、おしゃべりをしたり…。「週に2回しか掃除の時間はありませんが、711名が自分の担当場所を時間いっぱいがんばれば合志南小はピカピカになります!みんなでがんばりましょう!」自分のためだけでなく、自分以外の誰かのためにもがんばれる合志南小の子どもたちであってほしいです。